

えびな市民まつり2023 icom IP700及びMotorola Evolveを活用



事前に、各部門のチャンネル一覧及び操作方法等のマニュアルを作成
本部⇔部門のみならず、部門⇔部門で連絡できる体制としました。

えびな市民まつりは、会場である海老名運動公園を5つのランドに分け、幅広い世代が1日楽しめる場所をコンセプトに実施しています。

今年のフィナーレでは、大抽選会や市内中学校吹奏楽部による特別コンサート、そして、約5,000発の花火の打ち上げを行い、延べ約15万5千人に会場いただきました。

昨年、従事者間での連絡をIP無線機にて行っていました。来場者が多いことでLTE回線が混線してしまい、無線が繋がらなくなる課題が生じていました。そこで、機器の見直しによる運用方法を相談したところ、IP700及びEvolveによる運用を提案いただきました。

当日は、一時的につながりにくい状況があったものの、LTE回線とデジタル無線の使い分けにより、昨年に比べ、改善されたものと認識しています。また、使用チャンネルを変えることで、会場内のみならず、会場外で従事する他部門へ本部からの必要な情報を発信することができ、本部以外の部門間においても情報共有を図ることができました。

ただ、現地では全チャンネルに一斉発信を行いたい場面があり、チャンネルを変えることなく、対応できる機能があるとより効果的に活用できると感じました。

Evolveには、えびな市民まつり公式アプリをダウンロードいただき、チャットによる表示、写真データの送信ができる利点を生かし、活用を検討していましたが、入力による時間を要することから、現地では音声でのやり取りが主となりました。

御担当者様には、課題に対する改善提案や準備段階から迅速かつ丁寧な対応をいただき、お世話になりました。

えびな市民まつり実行委員会